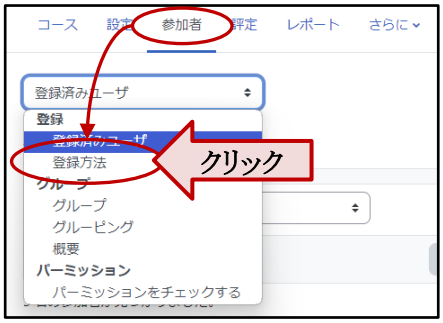
ゲストアクセスを許可する

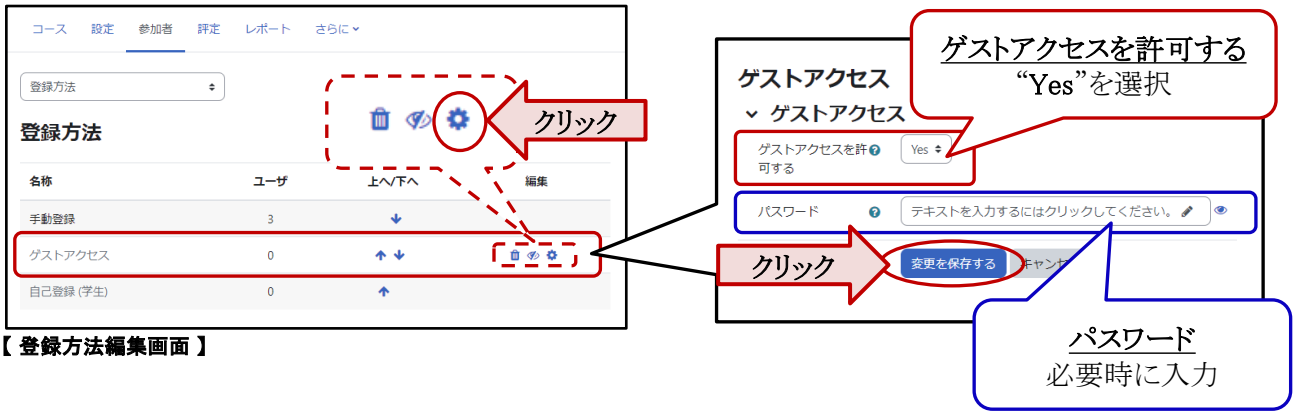
学生がeALPSを利用するには、キャンパス情報システムから履修登録をすることが必要です。
履修登録前（コース登録なし）に、eALPSのコースを利用させたい場合（初回授業等）は、『ゲストアクセス』機能が利用出来ます。ゲストアクセスを許可した場合、学生はゲストユーザとしてコースを利用します。
ゲストユーザでコースを利用し続ける場合は、毎回コースを検索して利用します。

①　「管理」タブ：[参加者] → [登録方法]



【 トップページ画面 】

②　ゲストアクセス横の [歯車のアイコン（設定を編集する）]
→　「ゲストアクセス」の設定を編集　→ [変更を保存する]



【 登録方法編集画面 】

caution ！　ゲストユーザは、利用できるコンテンツに制限があります！

ゲストユーザは、コースに掲載されたファイルのダウンロードはできますが、課題提出、小テスト受験、フォーラム投稿等、一部利用できない機能があります。
eALPS上の**すべてのコンテンツを利用させたい場合は、学生が履修登録をする**必要があります。

caution ！　教員からゲストユーザの特定はできません！

ゲストユーザはコースに登録されませんので、教員にゲストユーザの氏名はわかりません。また、**ゲストアクセス許可を解除しない限り、不特定のユーザがコースを閲覧**できます。

事前に受講学生がわかっている場合には、e-Learningセンターまで名簿を送付いただきますと、履修登録にかかわらず学生をeALPSのコースに登録することもできます。（この場合、ゲストアクセスを許可する必要はありませんが、学生は履修登録した学生と同様にコースを利用し続けることができますのでご注意ください）